

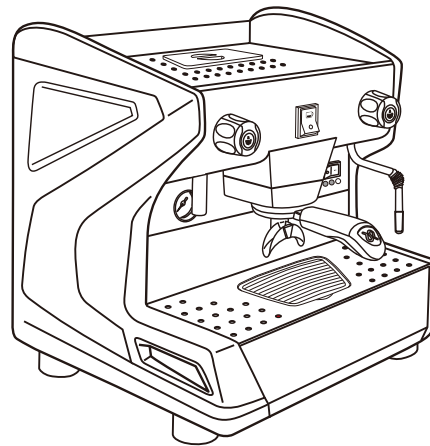
エスプレッソコーヒーマシン

# CLASSE 5

## Model USB

## TANK 1GR

### 取扱説明書



#### 目次

	頁
安全上の注意事項	P1 ~ 2
各部の名称	P3 ~ 4
設置	P5
操作方法	P6 ~ 7
立ち上げ手順	P6
エスプレッソコーヒー抽出方法	P6
タンク式の抽出にて	P7
コーヒー抽出量の設定	P7
熱湯の給湯方法	P7
蒸気の取り出し方	P8
基本設定	P9
毎日の清掃	P10 ~ 11
仕様	P12
製品保証書	裏面に記載

このたびは、RANCILIO CLASSE 5 を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解していただいた上でお使いいただき、いつでも取り出せる所に、保管しておいてください。

# 安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。  
表示内容は次の通りです。



## 警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



## 注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

Y型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

# 安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 注意

この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

電源は設置場所から 1.5m 以内に準備してください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。

メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。

給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。

ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。

本機の上に物を置かないでください。

製品にもたれたり、乗ったりしないでください。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。

運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。

マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。”

排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。

クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。

使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないでください。

営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。

断水の際はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。

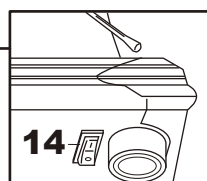
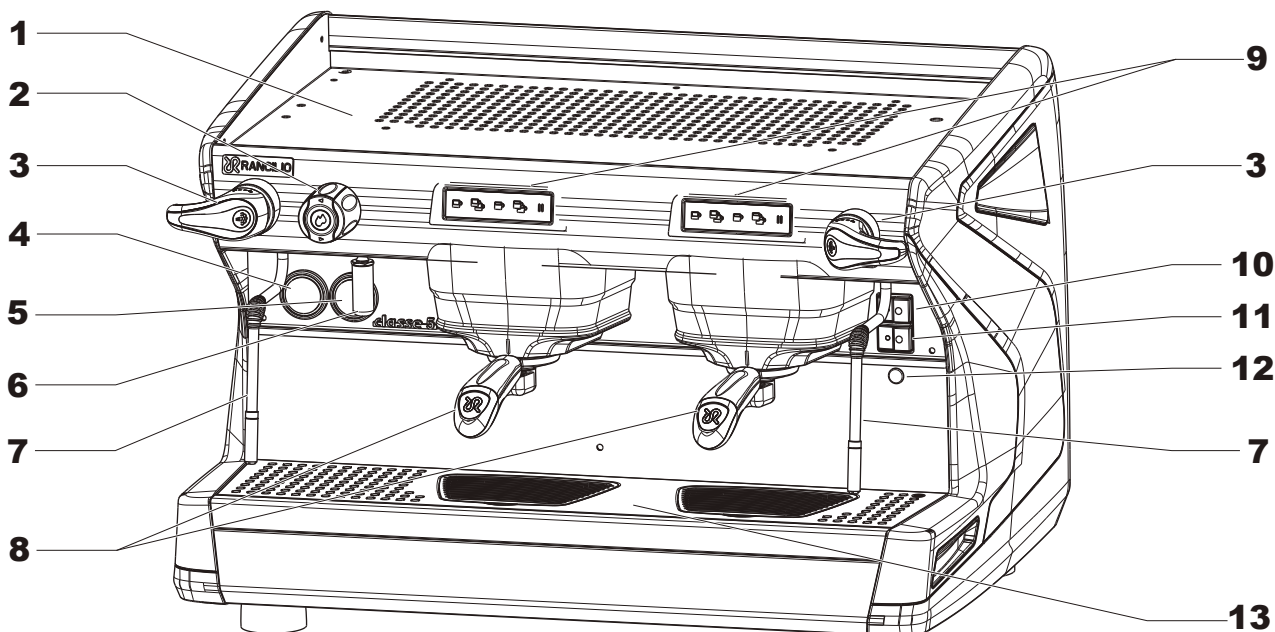
断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。

設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

# 各部の名称

## 本体

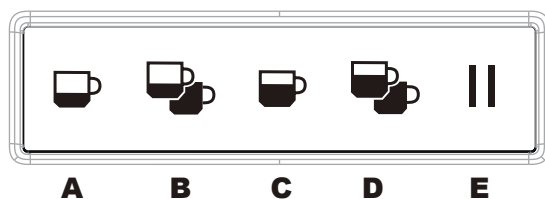
USB2Gにて説明（USB1Gはスチームノブが回転ノブ式になります。）



本体底面右下

- |                   |                         |  |
|-------------------|-------------------------|--|
| <b>1</b> 天板       | <b>6</b> 熱湯ノズル          | <b>11</b> カップウォーマースイッチ<br>※カップウォーマーは搭載されていません。 |
| <b>2</b> 熱湯ノブ     | <b>7</b> スチームワンド（ノズル）   | <b>12</b> 給水センサーランプ                            |
| <b>3</b> スチームノブ   | <b>8</b> フィルターホルダー      | <b>13</b> ドリップトレイ                              |
| <b>4</b> 水圧計・抽出圧計 | <b>9</b> 抽出ボタン（下記に詳細記載） | <b>14</b> 電源スイッチ（本体底面右下）                       |
| <b>5</b> ボイラー圧力計  | <b>10</b> ボイラースイッチ      |  |

## 抽出ボタン

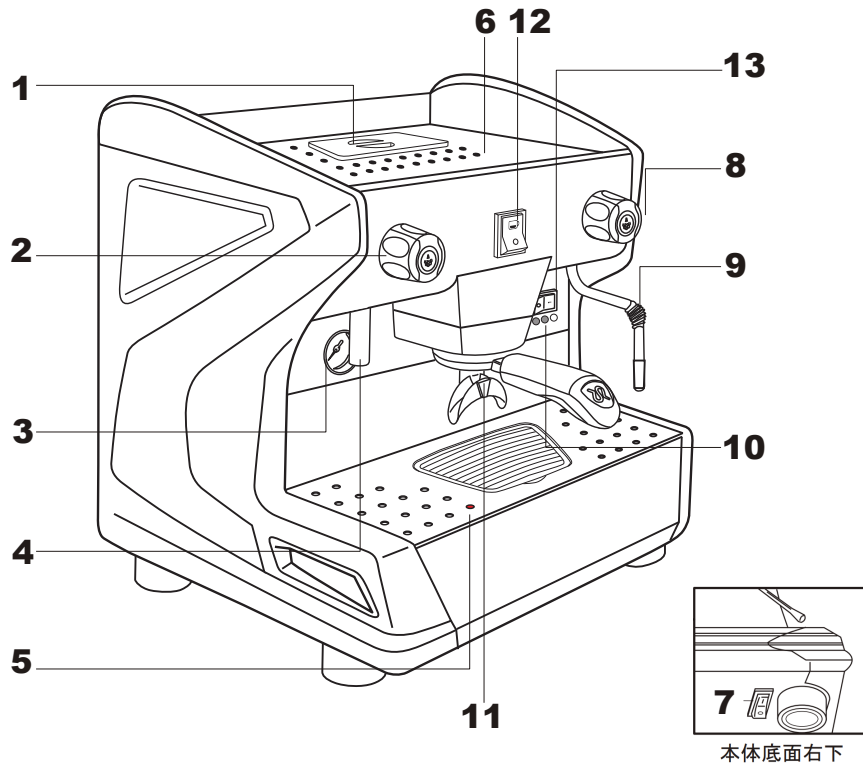


**A**   **B**   **C**   **D**   **E**

- A** シングル 1 杯抽出ボタン
- B** シングル 2 杯抽出ボタン
- C** ダブル 1 杯抽出ボタン
- D** ダブル 2 杯抽出ボタン
- E** 手動抽出ボタン

## 本体

タンク式



本体底面右下

**1** 給水タンク

**2** 熱湯ノブ

**3** ボイラー圧力計

**4** 熱湯ノズル

**5** ドリップトレイ

**6** 天板

**7** ボイラースイッチ

**8** スチームノブ

**9** スチームワンド

**10** 給水センサーランプ

**11** フィルターホルダー

**12** 手動抽出スイッチ

**13** 電源スイッチ

# 設置

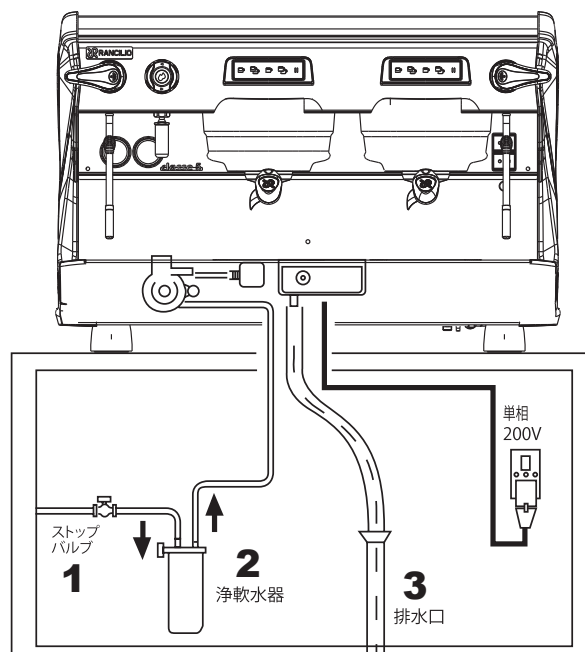
## 付属品チェック

下記のパーツが入っているか確認してください。( )内の数字は、2連用のパーツ数です。

- 一人用フィルターホルダー……………1 (1) ※ Model USBは下記も付属されております。
- 二人用フィルターホルダー……………1 (2) • 給水用メッシュチューブ……………1 (1)
- ブラインドフィルター(クリーニング用) ……1 (2) • 排水用ホース……………1 (1)
- 洗浄ブラシ……………1 (1)
- 洗浄剤……………1 (1)

## 設置例 USB 2 GIにて説明

- 1** 接続前に、ストップバルブより水を十分に流出させ、水道管内の異物を取り除いてください。
- 2** 浄軟水器の OUT 側を接続する前に浄軟水器に水を通してカートリッジ内の微粉を取り除いてください。
- 3** 排水ホースはできるだけ最短のものを選び、トラップが発生しないようにしてください。



※浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

## タンク式の場合

### 給水

給水タンク内のセンサー以下に水位が下がるとタンク用センサーランプが点灯しますので、電源をOFFにしてMax目盛りまで水を入れてください。

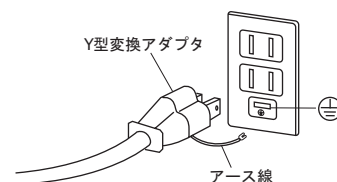
水位が下がってタンク用センサーランプが点灯するとヒーターは停止します。(空焚き防止)

### 注意

- 給水タンクのMax目盛り以上には絶対に水を入れないでください。
- センサーは底部の所定の部分にしっかりと固定してください。

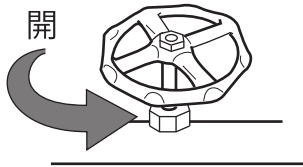
### 注意

この機器の電源コードをY型変換アダプタに変更した場合、必ずアース線を接続してご使用ください。



## 立ち上げ手順

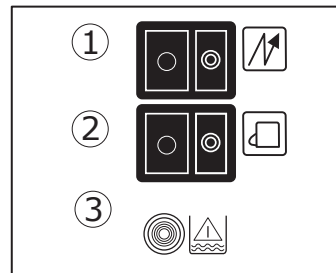
- 1** 水道の元栓を開いてください。



- 2** 本体底面右下にある電源スイッチをONにしてください。  
タンク式は正面右側にある電源スイッチをONにしてください。  
自動で給水が始まります。

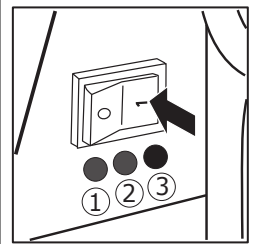
- 3** 給水センサーランプが消えたらボイラスイッチをONにしてください。

- 4** ボイラー圧が1barになると適温です。



- ① ボイラスイッチ  
② カップウォーマースイッチ  
③ 給水センサーランプ

### タンク式



- ① タンク用センサーランプ  
② 給水センサーランプ  
③ 電源ランプ



## エスプレッソコーヒー抽出方法

- 1** フィルターホルダーが冷たいときは抽出したコーヒーがぬるくなりますので、  
コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーを  
あらかじめ温めてください。  
(フィルターはフィルターホルダーに付けておいてください。)

- 2** フィルターホルダーのフィルター内にコーヒー粉を入れてください。

- 3** タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。  
フィルターのフチに付いた粉を手の平で拭き落としてください。

- 4** フィルターホルダーの出っ張り と 抽出装置のくぼみを合わせて、  
反時計回りに回してフィルターホルダーを取り付けてください。

- 5** 抽出口の下にカップを置き、お好みの抽出ボタンを押してください。



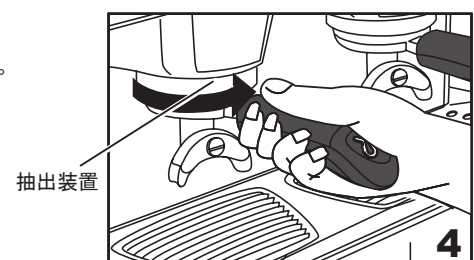
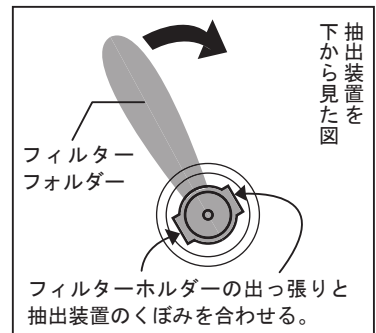
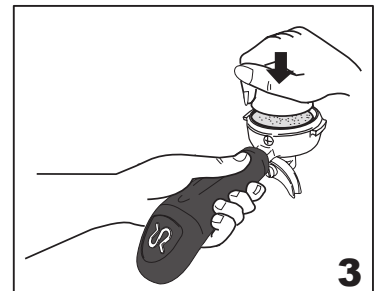
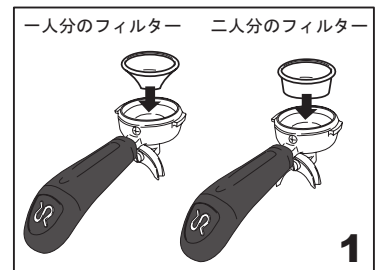
シングル 1杯抽出    シングル 2杯抽出    ダブル 1杯抽出    ダブル 2杯抽出    手動抽出ボタン

手動抽出ボタンを押すと自動では停止しないので、  
もう一度手動抽出ボタンを押して抽出を停止させて  
ください。



手動抽出  
ボタン

タンク式は  
手動抽出ボタン  
のみになります。



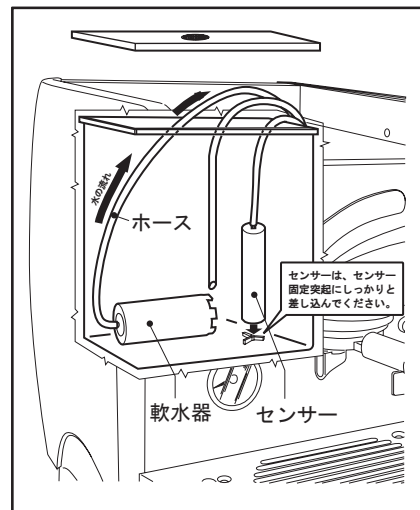
# 操作方法

## タンク式の抽出にて ※抽出できない場合、下記を確認してください。

原因：タンクの清掃や水の入替えなどで軟水器が水から出て、  
空気に触れたことで軟水器内に空気が混入してしまったため。

処置：軟水器内に混入してしまった空気を取り除くために  
下記の作業を行ってください。

- 1 軟水器とホースをしっかりと取り付けて、軟水器を確実にタンクの水に沈めてください。
- 2 コーヒー抽出ボタンを押して、10秒間程度ポンプを動かしてください。もう一度抽出ボタンを押してポンプを止めください。
- 3 2の作業を正常に抽出できるようになるまで繰り返し続けてください。



## コーヒー抽出量の設定 ※ Model USBのみ

- 1 手動抽出ボタンが点滅するまで手動抽出ボタンを長押ししてください。

**⚠ 注意** | 手動抽出ボタン長押し中、湯が少し出るのでお気をつけ下さい。

- 2 コーヒー粉を入れたフィルターホルダーを抽出グループにセットしてください。

- 3 抽出の下にコーヒーカップを置いてください。

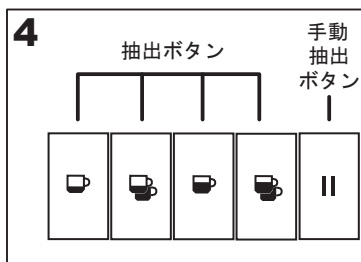
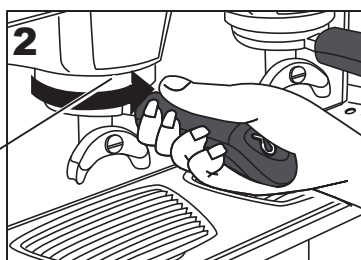
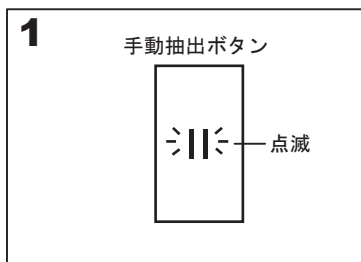
- 4 設定量を変更したい抽出ボタンを押してコーヒーを抽出してください。コーヒーは出続けます。

- 5 お好みの量まで抽出して、再度設定中の抽出ボタンを押してください。抽出が止まり、変更した設定量が記憶されます。

- 6 最後に手動抽出ボタンを押し、抽出モードに戻ってください。

引き続き設定を行う場合は 4 の操作を行ってください。

※左端の抽出装置の設定をしますと、その他の抽出装置も同じ設定となります。  
抽出装置の設定をそれぞれ異なる設定にする場合は必ず左端の抽出装置より設定してください。



## 熱湯の給湯方法

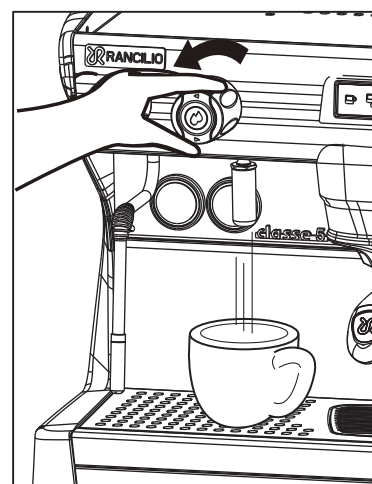
- 1 熱湯ノズルの下に容器を置いてください。
- 2 熱湯ノブを左（反時計方向）に回すと熱湯ノズルから熱湯がでます。熱湯を止めるときは、熱湯ノブを右（時計方向）に回してください。

**⚠ 警告** 熱湯の使用・使用直後は、熱湯ノズルが非常に高温になりますのでヤケドに注意してください。

**⚠ 警告** 熱湯はノズルから沸騰した状態で出てきます。熱湯ノブは注意してゆっくり開いてください。

**⚠ 警告** 熱湯から出る湯気によりノブが非常に熱くなる場合があります。

**⚠ 注意** 大きな容器に一度に多量の湯をとるとボイラー圧力が低下し、コーヒーの抽出やスチームの使用に支障をきたします。

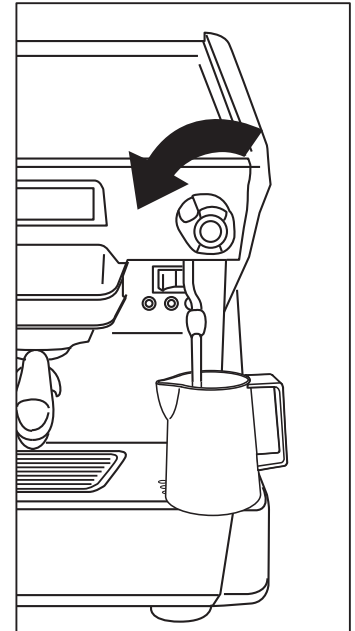




## 蒸気の取り出し方法

### 回転タイプの場合

- 1 スチームノズルをあらかじめドリフトレーに向けておいてください。
- 2 スチームノブを下方向に押さえノズル内の水を出してください。
- 3 スチームノブを左（反時計方向）に回すとスチームノズルから蒸気がでます。  
回している間、熱湯が勢いよく飛び出しますのでご注意ください。  
スチームノブをゆっくりと開いていき、飲み物を加熱します。  
スチームの噴出し音が低くなり泡の出方が激しくなったらノブを閉めます。
- 4 スチームを止めるときは、スチームノブを右（時計方向）に回してください。
- 5 使用後はスチームノズルに付着したミルクを、清潔な布で拭き取ってください。
- 6 もう一度スチームノブを下方向に押さえ、数回蒸気を出す動作を行ってください。  
ノズル内が詰まり、故障の原因になる事があります。



- 警告** スチーム使用に際しては、はじめにパイプ内に結露した水（湯）が出ますのでヤケドに注意してください。
- 警告** スチームの使用・使用直後は、スチームノズルが高温になりますのでヤケドに注意してください。
- 警告** 加熱しすぎますと容器内で激しく沸騰しヤケドの原因となりますので、ご注意ください。
- 注意** スチーム使用後はパイプを湿った布でよく拭きスチームの空だしを行ってください。（パイプ内にドリンクが詰まり異臭発生や故障の原因となります。）
- 注意** ノズルは高温になるので金属部分は触らず、ゴム部分を触るようにしてください。

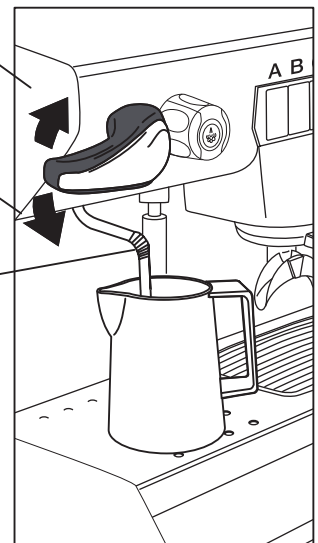
### レバータイプの場合

- 1 スチームノズルをあらかじめドリフトレーに向けておいてください。
  - 2 スチームノブを下方向に押さえノズル内の水を出してください。  
押さえている間、熱湯が勢いよく飛び出しますのでご注意ください。
  - 3 蒸気が出るようになれば、いったんスチームノブから手を離して、スチームノズルをミルクの入ったピッチャーに入れてください。
- 注意** | ノズルは高温になるので金属部分は触らず、ゴム部分を触るようにしてください。
- 4 再度、スチームノブをゆっくりと下方向に押さえてください。  
使用後は、スチームノブから手を離し、ピッチャーをノズルから外してください。  
連続してスチームを使用する場合は、スチームノブを上方向に上げるとノブが固定されてスチームが噴出し続けます。  
やめる場合は下方向に戻してください。
  - 5 使用後はスチームノズルに付着したミルクを、清潔な布で拭き取ってください。
  - 6 もう一度スチームノブを下方向に押さえ、数回蒸気を出す動作を行ってください。  
ノズル内が詰まり、故障の原因になる事があります。

スチーム連続使用  
(ノブ固定)

回している間だけ  
スチーム噴射

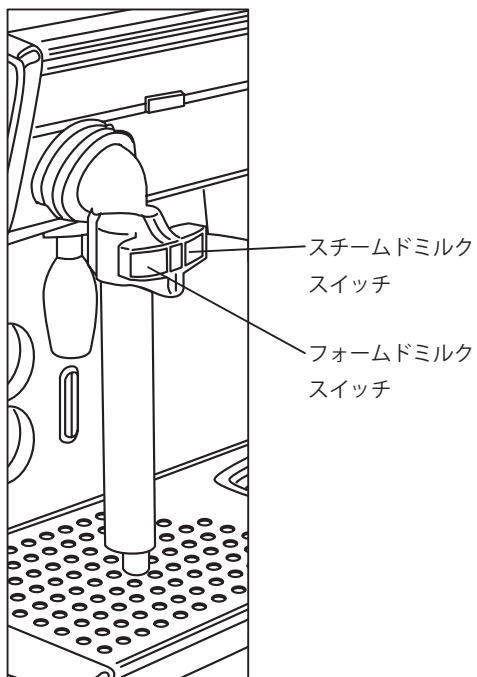
ゴム部分



# 操作方法

## アイ・スチーム使用方法

※アイ・スチームはオプションで取り付ける事ができます。

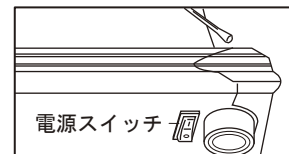


- 1** ピッチャーにミルクを入れてください。
- 2** アイ・スチームノズルをミルクの入ったピッチャーにつけてください。
- 3** アイ・スチームのどちらか好みのスイッチを押してください。  
センサーにより、決められた時間ピッチャー内のミルクを温めて自動的に止まります。
- 4** 使用後は、ピッチャーに水を入れてスチームを行ってからピッチャーをノズルからはずしてスチームノズルを清潔な布で拭き取ってください。

# 基本設定

## 基本設定 ※ Model USBのみ

設定項目を変更するのは各ボタン(A~E)を使用します。  
ボタン名はA~Eで説明しています。



本体底面右下

### ① 手動抽出ボタンの有効/無効

本体底面右下の電源スイッチをOFFにしてください。  
左側抽出グループのAボタンを押しながら電源スイッチをONにしてください。  
手動抽出ボタンを押し有効⇄無効になっているか確認してください。



A

### ② プログラム設定の有効⇄無効

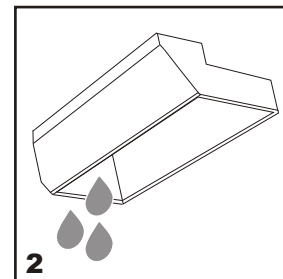
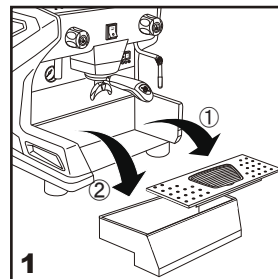
本体底面右下の電源スイッチをOFFにしてください。  
左側抽出グループのBボタンを押しながら電源スイッチをONにしてください。



B

## タンク式の場合

排水トレイに水が溜まったら、ドリフトレイを外し  
排水トレイを引き抜いて溜まっている水を捨ててください。



## 抽出装置の清掃（毎日の清掃） USB2Gにて説明

- 1 ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗浄してください。
- 2 左側抽出グループのCボタンが点滅するまで長押ししてください。
- 3 2本のフィルターホルダーにクリーニング用のブラインドフィルターをセットしてください。
- 4 ティースプーン1杯（8g）専用の洗剤を入れてください。

専用の洗剤

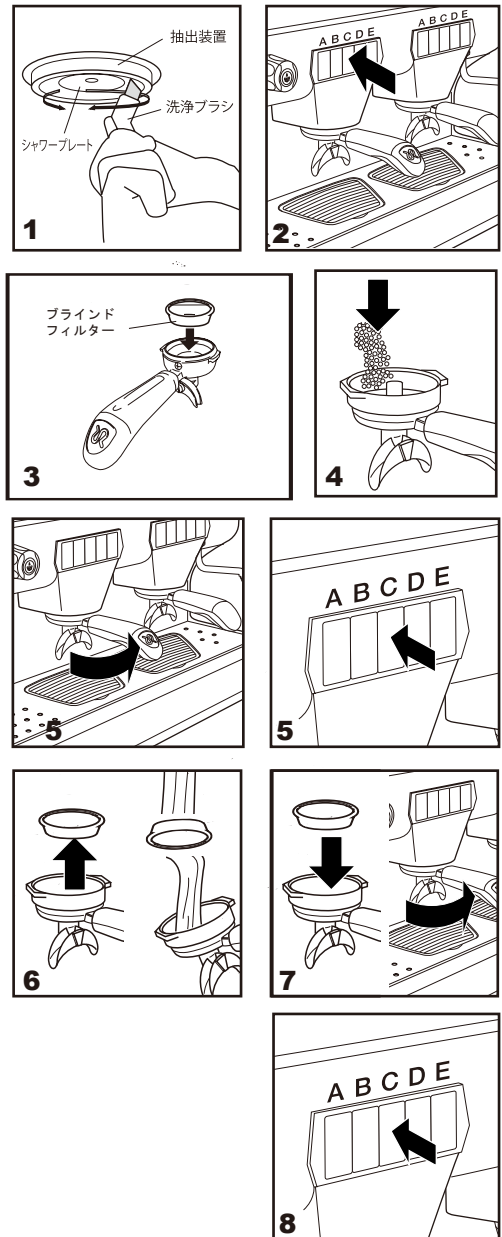
セミオート用コーヒーライン洗浄剤  
ESP-1500  
¥ 1,620 (¥ 1,500 税別)  
# 885267 容量 750g

お求めはマシンご購入先にお問い合わせください。

- 5 フィルターホルダーをマシン本体の左右抽出グループにセットしてください。  
Cボタンを1回押してください。  
約3分30秒後に自動的に停止します。  
全ボタンが点灯すると1回目の洗浄は終了です。
- 6 マシン本体の左右抽出グループからフィルターホルダーを  
取り外してください。ブラインドフィルターを取り外し、  
フィルターホルダーを洗浄してください。
- 7 もう一度、ブラインドフィルターをフィルターホルダーに  
セットし、マシン本体の左右抽出グループにセットしてください。
- 8 Cボタンを押してください。（すすぎが開始されます）  
120秒のすすぎが完了するとクリーニングは終了です。  
（ボタンは全て点灯状態）  
マシン本体の左右抽出グループからフィルターホルダーを  
取り外してください。

**注意** | すすぎ作業中は抽出装置から湯が出るのでお気をつけください。

- 9 フィルターホルダー金属部、フィルター、クリーニング用カップ  
ぬるま湯の入った容器に入れて洗浄してください。



# 毎日の清掃

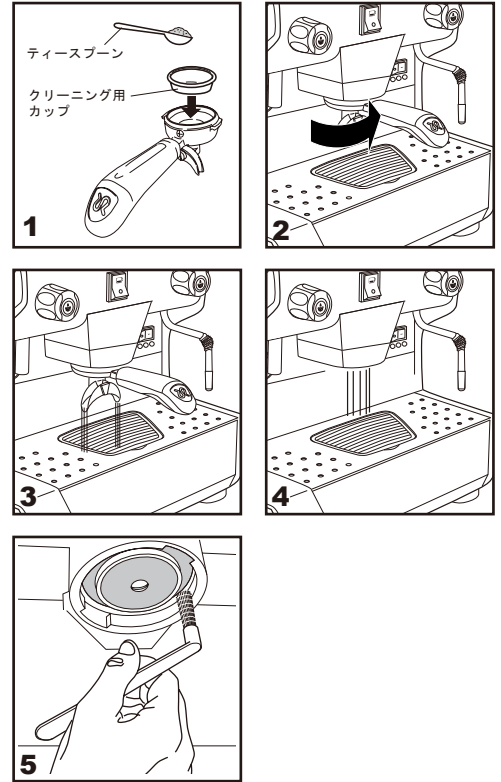
## 抽出装置の清掃（毎日の清掃）タンク式の場合

- 1 クリーニング用カップをフィルターホルダーに取り付け、ティースプーン1杯（約8g）の洗剤を入れます。
 

専用の洗剤

セミオート用コーヒーライン洗浄剤  
ESP-1500  
¥ 1,620 (¥ 1,500 税別)  
# 885267 容量 750g

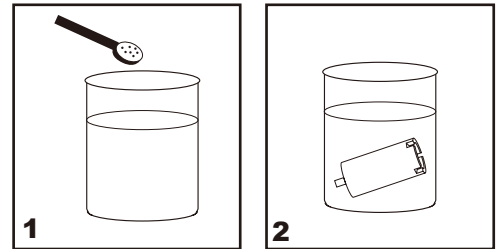
お求めはマシンご購入先にお問い合わせください。
- 2 フィルターホルダーを取り付けて抽出ボタンを押し約30秒間湯を送り、5秒間停止します。
- 3 さらに約10秒間ON、約10秒間OFFを10回程繰り返してください。
- 4 フィルターホルダーを外し、10秒ON、5秒OFFを5回以上繰り返して湯を流しリンスします。
- 5 抽出装置のメッシュ部分をブラシで掃除してください。
- 6 フィルター・フィルターホルダー・ドリフトレーを取り外して食器用の洗剤できれいに洗ってください。



## 軟水器の清掃 タンク式

※ 15Lの水を使用するか、または1ヵ月に一回、タンク内の軟水器を外して掃除してください。

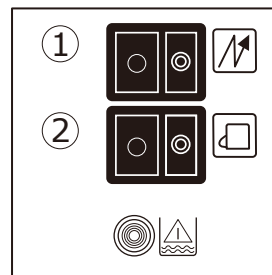
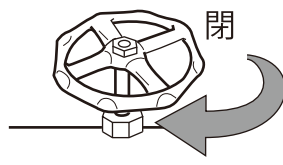
- 1 軟水器が入る大きさのカップに水を入れ、ティースプーン3杯分の塩を溶かしてください。
- 2 軟水器を1のカップの中で5分程つけ置きしてください。
- 3 水道水で十分にすすいでください。



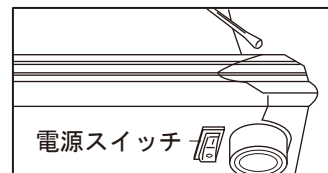
## 終業時手順

※終業時には必ず抽出装置の清掃（毎日の清掃）を行ってください。

- 1 ボイラースイッチをOFFにしてください。
- 2 本体底面右下にある電源スイッチをOFFにしてください。
- 3 水道の元栓を締めてください。



- ①ボイラースイッチ  
②カップウォーマースイッチ



	RANCILIOエスプレッソマシン
モデル	CLASSE5 USB1G
外形寸法(mm)	幅 410/奥行 540/高さ 520
重量(乾燥重量)	35kg
電源：消費電力	単相200V：1600W

	RANCILIOエスプレッソマシン
モデル	CLASSE5 USB2G
外形寸法(mm)	幅 770/奥行 540/高さ 520
重量(乾燥重量)	56kg
電源：消費電力	単相200V：3220W

	RANCILIOエスプレッソマシン
モデル	CLASSE5 TANK (付属タンク給水式)
外形寸法(mm)	幅 410/奥行 540/高さ 520
重量(乾燥重量)	35kg
電源：消費電力	単相100V：1250W

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更される事がありますのでご了承ください。

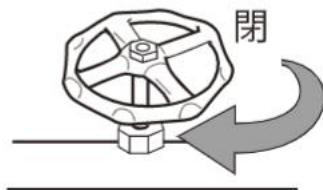
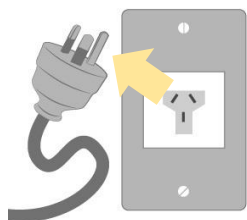
# 安全上の注意事項

コーヒーマシンを安全にご使用いただくために営業終了後など長時間作業者がいない場合は必ず下記の作業の実施をお願い致します。

## 終業時の手順

1. マシンの電源をOFFにしてください
2. 電源プラグをコンセントから抜いてください
3. 止水弁を閉めてください

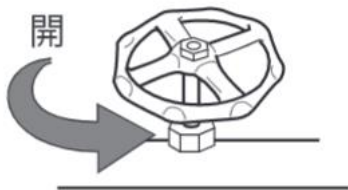
※電源コードをもって抜かないでください  
濡れた手で電源プラグに触れないでください



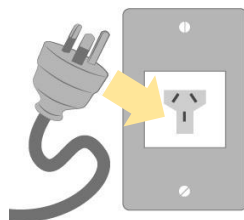
電源プラグは水がかからない場所で保管してください

## 始業時の手順

1. 止水弁を開けてください
2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください



※濡れた手で電源プラグに触れないでください  
電源はアース付きの専用のコンセントに取り付けてください



3. マシンの電源をONにしてください

# 製品保証書

型式	機番	保証期間
お客様様	お名前 様	お買上げ日より 1 年
	ご住所 〒	お買上げ日
	電話 ( ) -	* 年 月 日
*販売店名		
住所		
電話 ( ) -		

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - \* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

**ラッキーコーヒーマシン** 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

事業所については  
こちらをご覧ください

